

町家利用店舗における窓装備の色彩が店舗の外観評価に与える影響

Effect of Color of Window Treatment on Evaluation for Machiya facade

鍵本明里 Akari Kagimoto 同志社女子大学大学院 Graduate School of Doshisha Women's College
 奥田紫乃 Shino Okuda 同志社女子大学 Doshisha Women's College of Liberal Arts

Keywords: 町家、窓装備、色彩、印象評価

1. はじめに

日本の歴史的観光都市には、町家等の歴史的建造物を利用した店舗が多数存在している。店舗ファサードにはさまざまな色彩の暖簾やロールスクリーン等の窓装備が使用されており、それらは店舗の外観の印象に影響を与える要因であると考えられる。そこで本研究では窓装備の色彩に着目し、窓装備の色彩が町家利用店舗の外観評価及び印象に与える影響を明らかにすることを目的とし、歴史的観光都市の一つである京都を対象として、町家模型を用いた主観評価実験を行った。

2. 実験概要

間口 5400mm の町家利用店舗を想定し、店舗と街路空間からなる 1/6 縮尺模型を用いた。模型寸法は街路部分が幅 640mm、店舗の間口 900mm であり、店舗内部は幅 780mm、奥行き 900mm、高さ 400mm である。図 1 に模型平面図及び断面図を示す。街路部分には、昼間の光環境を想定し、天空用光源として 5000K の蛍光灯 (Panasonic 3 波長形昼白色 FRL20S・EX-N/M)

を 10 灯設置し、被験者顔面鉛直面照度が 5000lx となるよう設定した。室内照明器具として、ダウンライトには 3000K の蛍光灯 (Panasonic 3 波長形電球色 FRL20S・EX-L/M) 10 灯を使用し、ペンダントライトには直径 3mm、3000K の LED ランプ (SDPL31GG0C0/星和電機株式会社) を 16 球ずつまとめたものを 1 灯とし、6 灯設置した。店舗内部光環境については、既往研究結果¹⁾を参考に、机上水平面照度を 200lx に設定した。また、格子条件については、町家カフェの外観として好ましいとされる²⁾³⁾開口率 30% に設定した。窓装備の条件として暖簾の色を表 1 に示す 9 条件 (白・ベージュ・赤・茶・紺・灰・緑・黒・紫)、暖簾の種類を 2 条件 (標準暖簾、水引暖簾)、ロールスクリーンの色を表 2 に示す 3 条件 (白、ベージュ、茶)、ロールスクリーンについて 2 条件 (ロールスクリーン有、ロールスクリーン無) とし、計 45 条件を設定した。図 2 に実験条件写真の一部を例示する。店舗外壁面から 4m 離れた街路上の地点から店舗外観を観察する状況を想定し、「店舗への入りやすさ」「落ち着きやすさ」「地域らしさ」と、これらを踏まえた総合評価として「ファサードの好ましさ」をそれぞれ 6 段階の言語評価尺度で評価させ、さらに印象評価では 20 形容詞対、7 段階尺度を用いた SD 法で評価させた。被験者は 20 代の同志社女子大学生 24 名とした。

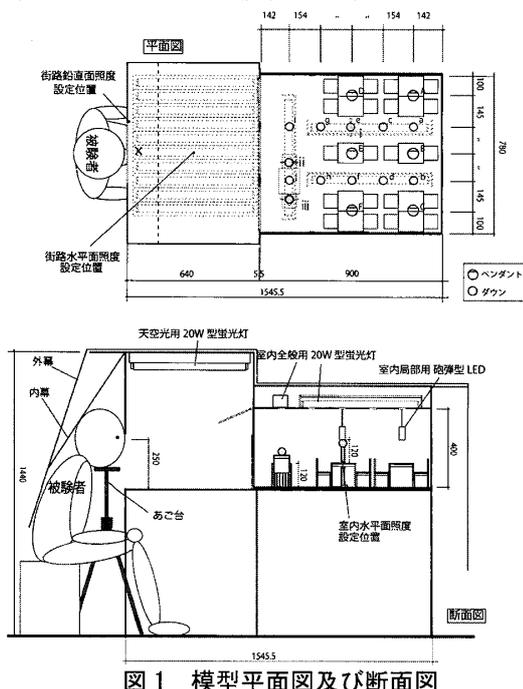


図 1 模型平面図及び断面図

表 1 暖簾の布の色と種類

色	マンセル値	布の種類
白	N9.0	シーチング
ベージュ	2.5YR9.0/1.0	エイティスケア
赤	7.5R3.0/10.0	シーチング
紺	7.5PB3.0/6.0	ブロード
灰	N3.5	ブロード
緑	2.5GY3.0/3.0	ブロード
茶	5YR3.0/4.0	シーチング
黒	N1.0	シーチング
紫	10PB3.0/6.0	エイティスケア

表 2 ロールスクリーンの布の色と種類

色	マンセル値	布の種類
白	N9.0	シーチング
ベージュ	2.5YR9.0/1.0	エイティスケア
茶	5YR3.0/4.0	シーチング

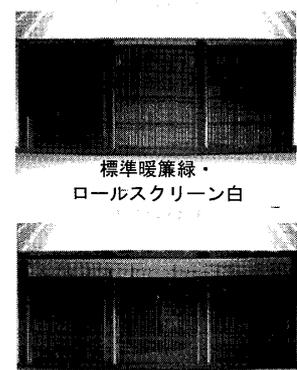


図 2 実験条件の一例

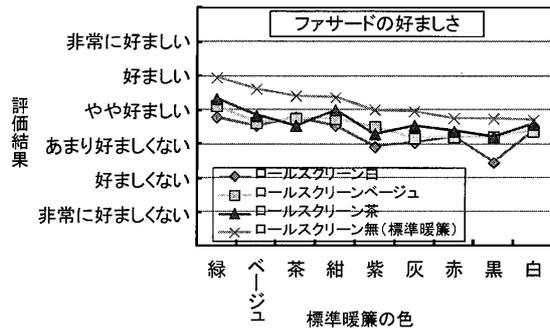


図3 標準暖簾での窓装備の色条件とファサードの好ましきとの関係

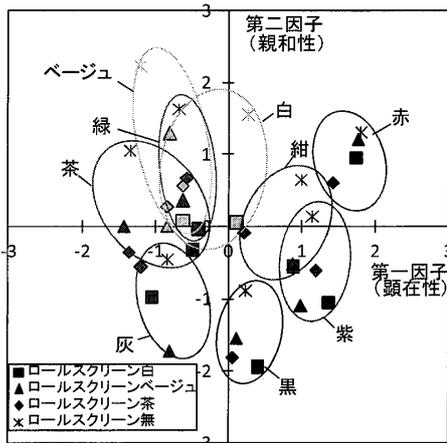


図4 因子得点分布図

3. 実験結果及び考察

3. 1 好ましき評価の実験結果

図3に、標準暖簾の場合の暖簾の色条件とファサードの好ましきに対する結果との関係を、被験者24名の結果の平均値で示す。ロールスクリーンが無い時、ファサードの好ましきでは「あまり好ましくない」～「好ましい」の評価が得られた。また、緑・ベージュ・茶・紺の暖簾の評価はやや好ましい以上の評価であった。ロールスクリーンがベージュ・茶の時「あまり好ましくない」～「好ましい」の評価が得られ、緑の暖簾ではやや好ましい以上の評価が得られた。また、ロールスクリーンが白色の時「好ましくない」～「やや好ましい」の評価が得られ、その中でも暖簾が黒色の条件では最も低い評価が得られた。これは、この2色の組み合わせが経験的に悪印象を与えた可能性があると考えられる。

3. 2 印象評価の実験結果

店舗外観の印象に対する評価因子を明らかにするため、印象評価実験で得られた結果を用いて、因子分析(主因子法、バリマックス回転)を行った。表3に因子負荷表を示す。第一因子として「顕在性因子」、第二因子として「親和性因子」、第三因子として「品性因子」が抽出された。因子分析から得られた各因子の因子得点分布図を図4に示す。ロールスクリー

表3 因子負荷表

20形容詞対	第一因子 (顕在性)	第二因子 (親和性)	第三因子 (品性)	共通性
個性的な-平凡な	0.948	0.059	-0.059	0.90
派手な-地味な	0.880	0.381	-0.162	0.96
はっきりした-ぼんやりした	0.870	0.238	-0.055	0.81
目立つ-目立たない	0.832	0.360	-0.063	0.94
人工的な-自然な	-0.831	0.416	0.247	0.93
新しい-古い	0.823	0.411	-0.272	0.93
落ち着きのない-落ち着きのある	-0.809	-0.131	0.500	0.92
統一感のない-統一感のある	-0.802	0.184	0.308	0.80
現代的な-古風な	0.776	0.440	-0.331	0.93
親しみやすい-親しみ難い	-0.082	0.937	0.239	0.94
やわらかい-硬い	-0.102	0.926	-0.177	0.93
暖かい-冷たい	0.079	0.893	-0.050	0.79
明るい-暗い	0.323	0.871	-0.208	0.92
軽い-重い	0.084	0.861	-0.244	0.78
活気のある-活気のない	0.429	0.831	0.112	0.90
開放的な-閉鎖的な	0.226	0.782	0.087	0.68
動的な-静的な	0.564	0.704	-0.240	0.86
上品な-下品な	-0.425	-0.027	0.799	0.86
高級感のある-高級感のない	-0.099	-0.546	0.799	0.97
京都らしい-京都らしくない	-0.550	0.319	0.711	0.94
寄与率(%)	39.24	34.89	14.30	88.42
累積寄与率(%)	39.24	74.13	88.42	

ンの有無条件別に比較すると、いずれの暖簾の色条件においても、ロールスクリーンが無い条件で親和性因子が高いことが読み取れる。また、ロールスクリーンが無い条件で、緑・ベージュ・茶の暖簾は顕在性因子が低く、親和性因子が高いことが共通し、赤の暖簾は顕在性因子・親和性因子共に高く、黒の暖簾は親和性因子が低い結果となった。これらのことから、店舗外観の印象が暖簾の色に影響されていることが示された。

4. おわりに

本研究では、窓装備の色彩が町家利用店舗の外観評価及び印象に与える影響を明らかにすることを目的とした主観評価実験を行った。その結果、暖簾の種類による評価の差異は見られなかったが、緑・ベージュ・茶の暖簾は、京都らしき・好ましきの評価がやや高く、平凡な・地味な・親しみやすい・やわらかい印象を与えることが示された。また赤の暖簾は、好ましき評価がやや低く、個性的な・派手な・親しみやすい・やわらかい印象を与え、黒の暖簾は親しみ難い・硬い・冷たい印象を与えることが明らかとなった。

【参考文献】

- 1) 持永愛美, 奥田紫乃: 町家カフェの格子密度及びカフェ内外の光環境が内部での落ち着きやすさに与える影響、照明学会誌 96-2, pp. 75-80, 2012
- 2) 持永愛美, 奥田紫乃: 町家カフェの格子密度及びカフェ内部の光環境がファサードの好ましき評価に与える影響、日本建築学会環境系論文集第673号, pp. 129-134, 2012
- 3) 持永愛美, 奥田紫乃: 京都における町家カフェのファサード構成要素及び内部からの漏れ光がファサードの評価に与える影響、日本都市計画学会都市計画論文集 No. 45, pp. 379-384, 2010